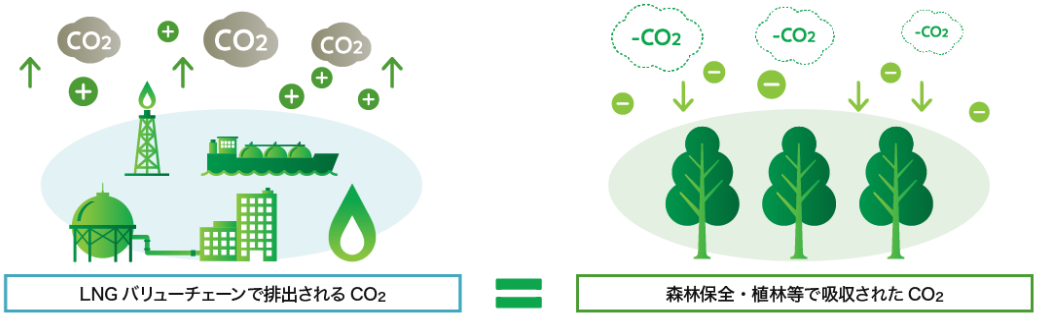
川本工業本社ビルの業務用ガスを
カーボンニュートラルLNG(CNL)に切り替えました

当社は、温室効果ガスの排出を抑え脱炭素社会の実現を目指すため、川本工業本社ビルで使用するガスを2022年11月から、東京ガスが提供する、実質排出量ゼロとみなされる「CNL」に切り替えました。
「CNL」は、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、新興国等における環境保全プロジェクトにより創出されるCO_2クレジットで相殺することにより地球規模ではCO_2が発生しないとみなすLNGです。
これにより当ビルでは、年間約61トン※のCO_2が削減されることになります。
（※2021年度の当社実績ベースで算出。排出係数は、環境省ホームページ掲載の温室効果ガス算定方法及び排出係数一覧による。）

バリューチェーン全体で排出される温室効果ガスを、森林保全等で創出された CO_2 クレジットで相殺することにより、地球規模では排出量がゼロとみなされます。



実質排出量ゼロ

7.エネルギーをみんなに そしてクリーンに　11.進み続けられる まちづくりを　13.気象変動に 具体的な対策を

川本工業はSDGsを通じて豊かな社会を目指します